

令和 5 年度 事業報告 (12 月 11 日現在)

■ワーク・ライフ・バランス推進セミナー

「ワーク・ライフ・バランスで会社が利益体質に変わった」

実施日		定員	参加者数	満足度
日時：令和 5 年 10 月 10 日(火) 午後 2 時～4 時 会場：市民プラザ第 1 会議室		60 人	20 人 内 事業所参 加：9 団体	88.9% (満足・おおむね 満足の割合)
目 的	ワーク・ライフ・バランスの推進によって、誰もが働きやすい労働環境をつくり、生産性の向上や社員の離職率の低下につなげている中小企業の取組を先進事例として学ぶ機会とする。			
内 容	<p>【講師】(株)大堀商会 代表取締役 大堀 正幸 氏</p> <p>※上越教育大学教授（上越市男女共同参画審議会委員長）からの提案で、講師の許可を得て、大学関係者向けのオンライン配信のための録画撮影を行った。今後も大学との連携を探り、効果的な活用について検討する。</p>			
担当評価	<ul style="list-style-type: none"> ・自らも子育て中の父親であり、イクボスとしても活躍中の大堀正幸氏を講師に迎え、中小企業だからこそ、ワーク・ライフ・バランス推進、働き方改革によって生産性を向上し、労働時間の短縮につなげ、社員の満足度をあげることができるという内容のセミナーを開催し、事業所や商工会関係者を含む 20 人の参加を得た。 ・参加者からは、 「ワーク・ライフ・バランスの考え方、実態が理解できた。」 「講師の体験に基づくお話は非常に力強く、活力をもらった。」 「大変な苦勞をされたからこそ伝えられる説得力のあるお話が聞いて良かった。今後の生活に役立つ。」 「効率性を上げていくことの大切さを改めて感じた。今後に生かしてゆきたい。」 「シングルマザーが安心して、仕事に専念できる社会をつくりたいので、今後のヒントになる情報をたくさん得られた。」 「大切だと分かっているけど、どう取り組めばいいか分からずにいる。一步踏み出すきっかけとなった。」など、熱量のある講師の話から、多くの気づきやヒントを得たという前向きな感想が多かった。 ・特に参加した事業者からは、経営者として改革に踏み出す心構えや具体的な手法について質問が出されたほか、終了後、講師と個別に挨拶する様子も見られ、先進事例として開催した意義があった。 ・今回のセミナーから、QRコードによる申し込みフォームを設けたところ、申込者 23 人中（当日キャンセル含む）14 人がフォームからの申し込みであった。今後も、一層、市民ニーズに沿った利便性の向上に取り組んでいきたい。 			

■上越市女性サポートセンター講座・自分磨き応援講座

「ライフプランセミナー～充実した、より豊かな人生の実現に向けて～」

実施日		定員	参加者数	満足度
日時：令和5年12月9日(土) 午前10時～11時30分 会場：市民プラザ第4会議室		30人	10人	55.6% (満足・おおむね 満足の割合)
目的	人生100年時代を見据え、自分らしく豊かな人生を送れるよう、年代ごとのライフイベントや社会保障制度、リスクへの備え等について学び、自身にあったライフプラン作りに役立てる。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、企業版ふるさと納税（人材派遣型）の活用により、子育て支援の推進など地方創生に向けた取組の一層の充実・強化を図るため、上越市に専門的知識・ノウハウを有する人材派遣を含む寄附を行っている第一生命保険株式会社及び市への派遣職員（こども政策課）を講師として、自分らしい生き方を支援するライフプラン作りに向けたセミナーを開催 ・第一生命保険株式会社からは、将来のために今どんな準備が必要か、子どもの教育費はいくら用意すべきか、といった年代ごとの気になる点を、こども政策課からは、社会保障制度を中心に講義してもらい、制度などの知識を得て、自身の生き方を見直し、ライフプラン作りのきっかけとする。 			
担当評価	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回上越市女性サポートセンター運営委員会及び委員への意見照会から、「個人向けのセミナー」「自分らしい生き方を支援するライフプラン的なもの」「保育ルームを設けるなど、女性が参加しやすいようにする」といった内容のセミナーを検討し、企業版ふるさと納税制度（人材派遣型）の活用により、第一生命保険株式会社が上越市に寄附を行っていることを生かして企画した。 ・自分磨き応援講座としても位置付け、子育て中の市民が参加しやすいよう保育ルームを設置。（3人の児童を保育） ・参加者からは、 「ライフプランの見直しを考えていたタイミングで、大変勉強になった。」 「一生涯、それぞれのステージのお金の動きについて早いうちに把握をし、家族と話し合う必要があると考えさせられた。」 「初めて参加してとても面白かった。また、マネーについて勉強したので、同様な講座をしてほしい。」 「社会保障制度について、レジュメを参考に勉強していかなければならないと思った。」など、満足度や役立ち度で高評価を受ける一方、高齢の参加者からは、「高齢期に達しているため、新たに計画ということは無理だと感じた。一般的な知識として活用したい。」という感想があり、満足度は全体で55.6%となった。（60代までの参加者5人で集計すると、「満足」「おおむね満足」と回答した人が80%、70代以上4人では、25%となるなど、世代間でははっきりと評価が分かれることとなった。） ・今後、同様の講座を実施する場合は、『子育て世代から定年期まで』など、対象世代を明確にして募集することで、ミスマッチを防ぐ工夫を検討する。 			

■就労支援講座「マザーズ再就職支援セミナー」

実施日		定員	参加者数	
日時：令和5年11月17日(金) 午前9時30分～11時30分 会場：市民プラザ 第1会議室		12人	9人	—
内容	<p>結婚、出産、子育て等のため、職業生活を中断した後、再就職を希望する方を対象に開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市の保育園制度・子育て支援情報について ・求職活動のノウハウについて ・座談会「就職活動に対する不安や悩みについて」 <p>※ハローワーク上越と共催</p>			
担当評価	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者からは、「同じ立場、同じ悩みの人と話せて安心した」「子育て中の求職で大事なことを知れた」との感想をいただき、全ての参加者から、求職活動ノウハウについて、「とても役に立ちそうだ」(4人)、「役に立ちそうだ」(5人)との評価をいただくことができた。 ・子育て中の求職者が参加しやすいよう保育ルームを設置し、7人から利用いただけた。 			

■ワーク・ライフ・バランス推進事業の紹介（資料2、資料3）

目的	家庭と仕事の両立を支援する国・県・市の補助金等を周知・紹介することで、ワーク・ライフ・バランスの推進を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広報上越12月号で、ワーク・ライフ・バランスの推進に寄与する認定制度・登録制度の紹介記事を掲載。 ・市内企業が集まる機会をとらえて、ワーク・ライフ・バランス推進・啓発チラシを配布 <ul style="list-style-type: none"> 5月19日 新規学卒求人申込説明会 7月12日・13日 高校生応募前企業説明会 9月5日 公正採用選考に関する研修会 ・各商工会や商工会議所が発行する会報誌に啓発チラシを折り込み、周知・啓発を図った。
担当評価	<ul style="list-style-type: none"> ・広報上越での制度紹介や市内事業所へのチラシ配布を行うことで、制度の周知と利用を働きかけ、ワーク・ライフ・バランスの推進や職場環境の改善に向けて取り組むことができた。

WLBのススメ

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは、働くすべての方々が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のことです。

こんな悩みありませんか？

新入社員が
なかなか集まらない

仕事の効率が悪くて、
業績が上がらない

補助金を知りたい
効率よく活用したい

職員が休暇を取っても
仕事が回るようにしたい

お悩み解決のヒントとなる助成金等をご紹介します！！

労働環境を
改善したい

働き方改革推進支援助成金

DX化で、業務の
効率化を図りたい

中小企業者等イノベーション推進補助金

育児や介護と仕事を
両立させたい

両立支援等助成金

企業イメージを
上げたい

ハッピー・パートナー企業登録制度



《 企業の取組を支援する制度一覧 》

《 働き方改革推進支援助成金 》

中小企業における労働時間の設定の改善の促進を目的とし、時間外労働や労働時間の長期化対策、勤務間インターバル導入といった、働く人の労働環境の改善を目指す取組に関する経費の一部が助成されます。

- 労働時間短縮・年休促進支援コース
- 労働時間適正管理推進コース
- 適用猶予業種等対応コース
- 勤務間インターバル導入コース
- 団体推進コース

厚生労働省HP



問合せ先：新潟労働局雇用環境・均等室 TEL：025-288-3528

《 中小企業者等イノベーション推進補助金 》

事業継続や新分野進出、販路開拓、新商品・新サービスの開発、DX・IT化、脱炭素等の新たな成長に歩みだす市内中小企業者の取組を支援します。

上越市HP



問合せ先：上越市産業政策課 商業・中心市街地活性化推進室 TEL：025-520-5734

《 両立支援等助成金 》

職業生活と家庭生活が両立できる“職場環境づくり”を行う中小企業事業主を支援する制度です。

- 出生時両立支援コース：男性が育児休業を取得しやすい職場環境作りを応援します。
- 介護離職防止支援コース：仕事と介護の両立支援に関する取組を支援します。
- 育児休業等支援コース：育休復帰支援プランを作成し、労働者に育児休業取得・職場復帰させる場合、または育児休業代替要員を確保した場合、助成します。

厚生労働省HP



問合せ先：新潟労働局雇用環境・均等室 TEL：025-288-3527

《 ハッピー・パートナー企業登録制度 》

男女がともに働きやすく、仕事と家庭生活等が両立できるよう職場環境を整えたり、女性労働者の育成・登用などに積極的に取り組む企業を「ハッピー・パートナー企業」として登録し、その取組を支援しています。

そのなかでも、特に男性従業員の育児参画支援や従業員の子育て支援の取組を進めている登録企業は「パパ・ママ子育て応援プラス認定」を取得できます。

●登録の主なメリット

- ・県のHPや各種広報等によりPRすることで、企業イメージ・知名度アップにつながります。
- ・新潟県建設工事入札参加資格審査の加点要件があります。（別途要件あり）
- ・ハローワークの求人票にハッピー・パートナー企業であることがPRできます。

●パパ・ママ子育て応援プラス認定企業の主なメリット

- ・「妊娠・出産・子育て関連有給休暇制度利用奨励金」「男性の育児休業取得促進助成金」の利用ができます。（※別途受給要件あり）
- ・従業員が県の連携金融機関の金融商品（学資ローン、マイカーローン等）を利用する場合に優遇が受けられます。



新潟県HP



問合せ先：公益財団法人新潟県女性財団（新潟県事業受託団体） TEL：025-285-6610

《 ワーク・ライフ・バランス推進企業利子補給補助金 》

新たに新潟県のハッピー・パートナー企業または国のえるばしに申請する企業に対し、金融機関から貸し付けを受けた資金の利子支払額について、その一部を補助します。

上越市HP



問合せ先：上越市産業政策課 労働係 TEL：025-520-5730

※最新の支援内容や詳細は、各問合せ先HPをご確認ください。



農業用軽油の免税制度

農業用機械に使用する軽油引取税（1リットル当たり32円10銭）を免税する制度です。新規で希望する人は、令和6年1月19日（金）までに問い合わせてください。2年目以降の人は、取扱販売店が指定する日までに申し出てください。免税される軽油数量は、使用する農業機械の種類と、農地台帳に記録された耕作面積を基に決定します。

- 申請手数料 450円（新規申請時と更新時にそれぞれ必要）
- 耕作面積証明手数料 350円（毎年必要）
- 申請に関すること 免税軽油取扱石油販売店または上越地域振興局課税課（☎025・526・9308）
- 耕作面積証明に関すること 農業委員会事務局（☎025・520・5813）

不妊不育治療費助成金の申請は済んでいますか

令和5年4月1日から、申請期限が治療の末日から1年以内になりました。経過措置として、令和5年3月31日までに終えた治療を対象とした

助成の申請期限は、治療期間の末日から起算して2年か、令和6年3月31日のいずれか早い日までです。申請が済んでいない人は期限までに申請してください。

- 健康づくり推進課（☎025・520・5712）

詳しくは



児童扶養手当・ひとり親家庭等医療費助成



離婚や配偶者との死別などにより対象となる人で、まだ申請をしていない人は、早めに相談または申請をしてください。

ただし、所得制限や公的年金の受給状況などにより対象とならない場合があります。●年度の末日で18歳以下（一定の障害がある場合は20歳未満）の児童を養育しているひとり親家庭の父または母、もしくは児童を養育する人 ●申請 子育て政策課（☎025・520・5726）、各総合事務所

野生鳥獣による農作物被害への対策

●イノシシ侵入防止用電気柵は降雪期前に撤収しましょう
雪の重みで電源装置や支柱、電線などの機材が破損する恐れや、道路脇のほ場は除雪作業の支障となるため、電気柵は降雪期前に必ず撤収してください。

また、春先の掘り起し被害を防止するため、来春の雪解け後、速やかに電気柵を設置し直してください。

●有害鳥獣を捕獲しています
農作物の被害を防ぐため、（一社）新潟県猟友会の市内6支部が、年間を通してイノシシなどの有害鳥獣を捕獲しています。猟銃や、わなを使用します。見かけても近づかないようにしてください。なお、住宅地や人が多く集まる場所では実施していません。●猟友会員は、捕獲活動時にオレンジ色の帽子とベストを着用しています。捕獲活動を行う際は、実施者が関係する町内会に周知します。



- 中山間地域農業対策室（☎025・520・5755）

地盤沈下を防ぐために地下水の節水にご協力ください

消費のため地下水を多くくみ上げると、地盤が沈下し、住宅などに大きな被害が発生する恐れがあります。消費パ이프の水を小まめに止め、人力や機械による除雪を行うなど、地下水の節水にご協力ください。

また、市では揚水設備の設置を規制しています。届け出などが必要な地域で揚水設備を設置・変更する場合は、着工前に市、県または施工業者に問い合わせてください。

●揚水設備の設置者の皆さんへ
節水型の自動降雪感知器の設置、くみ上げた地下水の再利用、機械除雪の併用に努めてください。

○県が地盤沈下注意報や警報を発令したときは、地下水の一層の節水（警報発令時は使用量の半減）にご協力ください。現在の地下水位は市ホームページで確認できます。

環境政策課

- （☎025・520・5690）

詳しくは



働き方改革関連の認定登録制度を積極的に活用しませんか

働きやすさについて一定の基準を満たした企業に対して、国や県が認定・登録します。認定・登録されると、企業の魅力向上につながるほか、公共調達での加点対象や融資の優遇措置など、さまざまな特典を受けられます。

制度を活用し、ワーク・ライフ・バランスの推進を図りましょう。

- 認定項目
- ①くるみん認定（子育てしやすい企業）
- ②えるぼし認定（女性が活躍しやすい企業）
- ③ユースエール認定（若者の採用・育成に積極的な企業）
- ④ハッピー・パートナー登録（仕事と家庭生活などの両立に積極的に取り組む企業）

●新潟労働局雇用環境均等室（☎025・288・3511）

●新潟労働局職業安定課（☎025・288・3507）

●（公財）県女性財団（業務委託団体）（☎025・285・6610）

詳しくは

